

スキップ

No.12

2010年9月6日

J R 東海労働組合

秋の闘いシリーズ④

チェックシートは品質保証書？

今年1月29日の補助ちょう架線切断事故の原因を、一方的に作業者のヒューマンエラーと決めつけ、対外的に発表したために、ボルトの員数管理ができていなかったことや、作業のチェックシートすらなかったことに、利用者やマスコミ等の社外から、会社の安全姿勢を問う声が集中しました。

以降会社は、「チェックシートを正しく記載すること」が「お客様の信頼を回復し、より安全で快適な車両を提供する」とし、「チェックシートの導入・徹底使用」の取り組みを行っています。

しかし、実際に作業をしている現場の声は、

- ・説明が不十分。チェック方法がわかりづらい。チェックを記入しづらい。時間がかかり負担が多い。
- ・実際に作業している社員でなければわからないこともある。簡略化、省略等見直しが必要だ。
- ・チェックシートが安全のために万能である、とする会社の姿勢はおかしい。
- ・管理者立ち会いでチェックシート通りに作業して、不具合が発生している。

等々、当然のことですが多くの声が上がっています。

現場で安全の確保に汗している他労組組合員の皆さん！

会社の体面作りのためのチェックシートの押しつけや、徹底が安全の確保に繋がるのでしょうか。安全の最前線は現場です。現場の声を真摯に聞くことが安全の確保に繋がります。安全の確保に妥協はありません。どしどし現場から声を上げましょう！

チェックシートで
安全は守られる？
確実にシートで

